

京都 C F

Here comes all Kyoto's current topics
The most energetic regional magazine
for all pleasure hunters.

を創りたい人、
募集中!

現在京都C F編集部では、編集部のお手伝いをしてくれる方を募集しています。C Fが好きな方、京の町を遊び回るのが好きな方、原稿を書きたい方、編集に興味がある方、ご応募ください。

私達と一緒にC Fを作ってみませんか?

まずは郵送にて履歴書をお送り下さい。

●問い合わせ先

京都C F編集部
Helpmate募集係 担当: 小嶋 (こざき)
〒604-8134
京都市中京区六角通烏丸東入ル 大輝六角ビル4F
E-mail:kozaki@m21.or.jp

※今回の募集は社員募集ではありませんので

ご了承ください。

※今回電話でのご応募・ご質問は受け付けておりませんのでご了承ください。

POWER PLAYSOUND

Music is moistened our life.
Tasteful album is here.
We'd like to find your recommended one.

近ごろのお嬢サマは、
ハードコア・メタルがお好き?



DR.FEEL GOOD / Motley Crue

ワーナー 2140円 (税込)

「中2の時、MTVで初めてモトリークルーのPVを見たんですよ。普通はドラムって目立たないじゃないですか。でもトミー・リーはキラキラ輝いてたんです!このアルバムツアーの時に、ナマの彼らにや〜っと会えました!」



REIGN IN BLOOD / SLAYER

スレイヤー 2800円 (税込)

「スレイヤーは、私にとっては神様。ジェフ・ハンネマンのリップなんて、カッコ良過ぎて号泣ですよ。まさに一糸乱れぬプレイ。実は以前、同じフェスティバルに参加して、同じ舞台上立ったことがあるんです。嬉しかったなあ!」



ROOTS / SEPTUAGINTA

ロードランナーレコード 2848円 (税込)

「イゴール・カヴァレラは、私の好きなドラマーのBEST3に入りますね。ドラムセットが真横にデカくて、すごくパワフルなんです。シンプルなのに、カッコいい!言うならば、硬派って感じですかね!」



YELLOW BUCKET / YELLOW MACHINEGUN

ROTTEN ORANGE 2500円 (税抜)

1週間の長野合宿 (1) を経て完成した、最新の5thアルバム。最後の「SPICY SPICY」は、ビールを肴としてレコーディングしたという、全開の大角プレイにご注目。7/11に八幡神社石段を下を下ろすWHOOPER'Sにてライブが決定。



イエマシと呼んでください。

大角珠実 (YELLOW MACHINEGUN) / ドラマー

<http://www.yellowmachinegun.com/>

地獄の底の断末魔の呻きのようなデス系ヴォーカル、高揚感を携えて疾走しまくるリズム隊。う〜む…。よもやこのゴリゴリのハードコア・メタルバンドが女のコだったとは、お釈迦サマでも知りますまい。でも、なんで女のコがハードコアやねん? とベタな質問をしたところ、「いやあ、ジャンニズも好きなんやけど、モトリークルーのトミー・リーも私にとってはアイドルなんですよ (笑)」とドラムの大角珠実サン。実は彼女、同志社大のご出身。ベース&ヴォーカル担当の奥村かをりサンとギター守谷京子サンとは、大学時代に知り合った。近頃じゃアメリカ、韓国、台湾と海外遠征にも引っ張りダコで、人種間を超えてさえ、客が狂ったようにヘッドバンクをキメるらしい。まさに世界最強のギャルバンドへと変貌しつつあるけれど、「若いコに『サインくれ!やない。サイン下さいやろ〜?』と注意したりして (笑)。コレってオバチャン?」。あくまで関西気さくノリ。そんな彼女たちに1票!



「現実」の二文字から二足の草鞋 (ダブル・ロールズ) を天秤の皿の上で履かざるをえない音楽人。夢と生業を計りにかけつつフルタイムで稼ぎ、音楽をこよなく愛する巨星、それが「ダブルロールズミュージシャン」。

ヨージックの

Vol.05 壁瀬篤史

壁瀬さんがベースを弾めるヨービスのバンド「ヨージック」のサウンドは「ロウ・ファイなギターポップ」。耳触りの良いスローテンポなナンバーたちは仕事で疲れた身体を癒してくれる

遅々しいスーツ姿は一見、クールな伊達男だが、実は話してみれば親しみやすいキャラ。「仕事にも妥協は一切不要、早く一人的になれるよう日々勉強中です」と、目指すところはトップ営業マンか?



ヨージックInfo

- ライブ 6/17@丸太町ネガボジ
- 2曲入りデモCD 300円
- ビバレーコード・mojo
- 京都MUSE HALLにて発売中
- <http://www.geocities.jp/mtereco/yo-zi/>

「そんなに両立できるやろな〜って思ってたら!」と言う壁瀬さんは今春、某健康食品会社に入社したのフレッシュマン。バンド活動を続けながら入社して初めて知った利潤を追求するサラリーマン世界。自分の未熟さを思い知らされた。「結果を求められる会社に対し、極端にいえば、バンドは明確な答えのない曖昧なものだった」。しかし、生来の妥協を許さぬ性格は、音楽活動を諦めようなど微塵も考えない。曖昧ならばそこに現実的な目標を持たせればいい、「メジャーデビューとかじゃなく、良いライブ、良い音源を目指すとかね」。現在のところ多忙な仕事に押され気味の活動なれど、現実と対峙する姿に心配は無用である。

スーツを纏い、改めた音楽とのツキアイカタ